

山口市まるわかり資料

魅力と未来への提案

山口市は「西の京」と呼ばれる歴史文化のまち。
2024年にはニューヨーク・タイムズの
「2024年に行くべき52カ所」で世界第3位に選ばれました。

数字で見る山口市



まちの規模

- 人口 約19万人 進む人口減少
- 面積 約1,000km²の広い市域



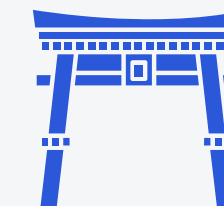
人口構成

- 高齢化率 約31%で推移
- まもなく 高齢者3人に1人の時代へ



学びの拠点

- 市内に4大学が立地
- 学生と研究が地域の活力に



観光と文化

- 湯田温泉は約800年の歴史
- 観光と地域文化の中心的存在

山口市の3つの特徴



県都としての拠点性

山口市は山口県の県庁所在地。
行政機関や大学、病院などが集まる
県内の中心都市。



自然・歴史・都市機能の調和

市街地の近くに里山や川、
田園風景が広がり、歴史や文化が
暮らしに溶け込むまち。



広大な市域と多彩な暮らし

中心部と中山間で暮らし方を選べ、
温泉・食・観光資源で体験の幅が広い。

※写真はイメージです。

03.

山口市の魅力を深掘り 

豊かな食文化



朝霧と寒暖差が生む豊かな香り

山口県を代表する銘茶「小野茶」。
香り高く、まろやかな甘みと
すっきりとした後味が楽しめます。
日常のお茶としてはもちろん、
贈り物としても親しまれています。



プリプリの食感と甘みが魅力

車えび養殖発祥の地・秋穂(あいお)で育った
ブランドえび「あいおえび」。
弾力のある食感と上品な甘みが特徴です。



もちもち食感の伝統和菓子

外郎（ういろう）は、米粉を使って
作られる、やさしい甘さの伝統和菓子。
お土産の定番として人気です。中でも
できたての「生外郎」は現地でしか
味わえない名物です。

※写真はイメージです。

04.

山口市の魅力を深掘り 

歴史・文化が身近なまち



西の京と呼ばれる歴史文化都市

約600年前、京都のように文化が栄えたことから、山口市は「西の京」と呼ばれるようになりました。
当時育まれた文化や伝統は、今もまちの暮らしの中に受け継がれています。



国宝や歴史的建造物が身近

国宝・瑠璃光寺五重塔や歴史ある寺社、サビエル記念聖堂などが市街地の近くにあり、日常の中で歴史的な景観を楽しむことができます。



受け継がれる伝統文化・工芸

約600年続く山口祇園祭や伝統工芸の大内塗など、地域の人々によって受け継がれてきた伝統文化に触れることができます。

※写真はイメージです。

05.

山口市の魅力を深掘り 

温泉と観光の癒やし

名湯が身近にある強み

- ・ 湯田温泉など、温泉資源が暮らし圏に近い
- ・ 観光の核にも、日常のリフレッシュにも使える

日常に組み込める癒やし体験

- ・ 仕事帰りの立ち寄り入浴で、疲れをリセット
- ・ 週末は家族や友人と、短時間でも満足度向上

滞在価値を広げる掛け合わせ

- ・ 自然体験と組み合わせ、心身の回復を深める
- ・ 歴史・文化のまち歩きと接続し、回遊を促進



※写真はイメージです。

06.

山口市の魅力を深掘り 

食と挑戦を応援する風土



地元の「おいしい」が豊富

- 農産物や特産品が身近で選べる
- 直売・飲食・土産で魅力を体験



挑戦を後押しする地域性

- 新規出店や商品開発を応援する空気
- 市民の応援が継続の力になる



食を起点に広がる価値

- 観光・温泉・文化と組み合わせて回遊
- 生産者と来訪者をつなぎファン化

※写真はイメージです。

山口市が期待すること...例えば、

若者が活躍できるまちへ

課題は？

地元を離れる若者が多い

- 進学や就職をきっかけに市外へ出る人が多い
- 人手不足で地域や企業の元気がなくなりやすい

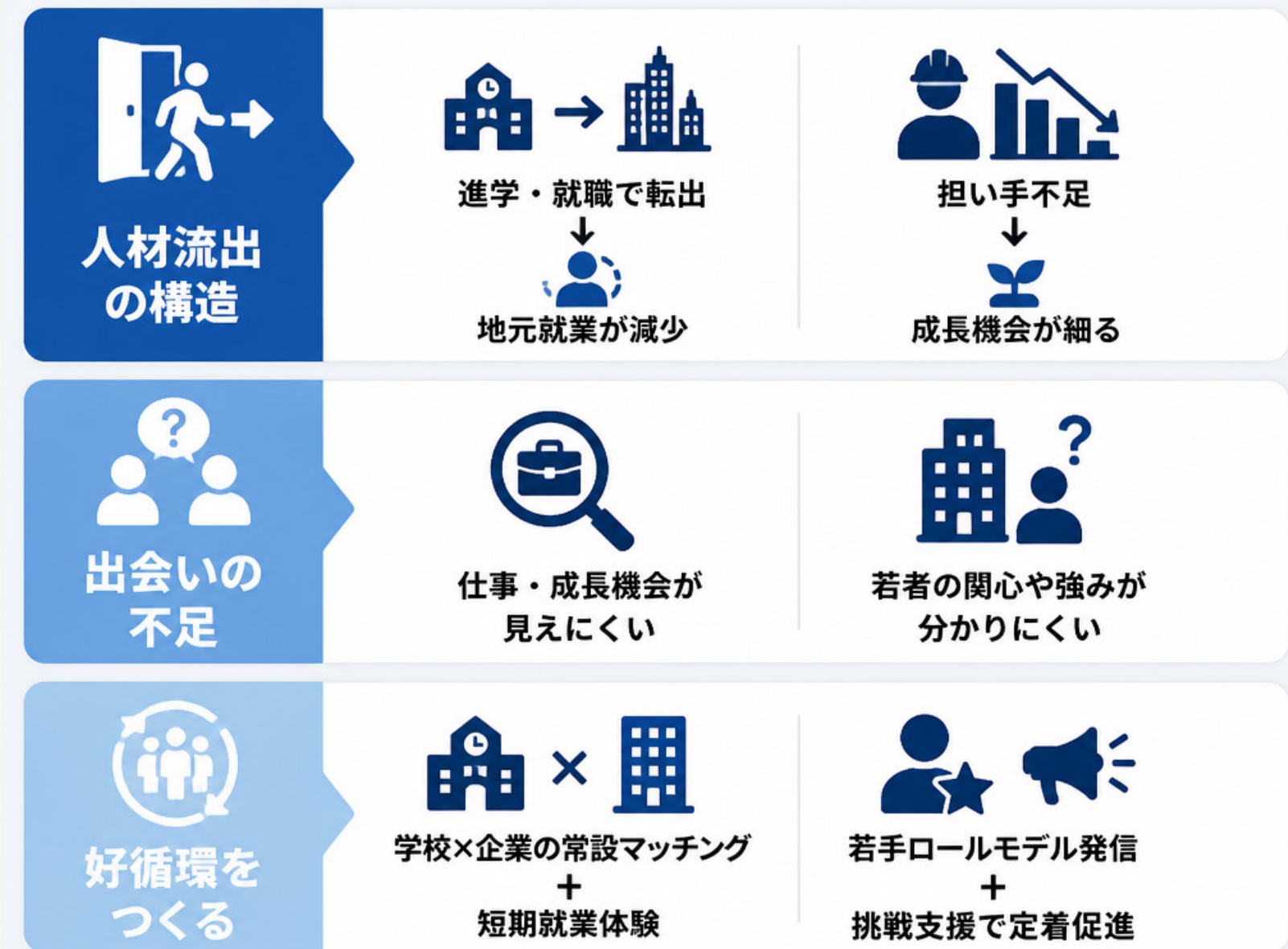
学生と企業が出会えていない

- 学生は地元どんな仕事があるか知らない
- 企業も高校生や若者の興味を知る機会が少ない

解決策は？

人材の好循環をつくる提案

- 学校と企業がつながる仕組みをつくる
- 気軽に、地元で活躍する若者の体験談が発信されるまち
- 参加できる仕事体験を増やす



山口市が期待すること...その他、

こんなことがあります

魅力を束ねて滞在価値を伸ばす

- ・ 温泉・文化・自然を周遊ルート化し、回遊促進
- ・ 食と体験を組み合わせ、リピーターを増やす

移動と暮らしの基盤を整える

- ・ 拠点間の公共交通を再設計し、乗継を改善
- ・ 中心部と中山間の生活サービスを補完する

市民と進める実行体制

- ・ 小さく試し、成果指標で改善を回す
- ・ 官民学の共創チームで実装を加速



山口市の魅力や課題を自分ごととしてとらえ、「こんな仕組みがあったらいいな」という皆さんならではのアイデアを、ぜひ提案してください。
自由な発想でのチャレンジをお待ちしています。